

東京から琴の家元

豊橋ハートセンター 慰問演奏、美しい音色

素晴らしい音色で心身が癒やされた。豊橋市大山町の心臓専門病院、豊橋ハートセンター(鈴木孝彦院長)で16日、大正琴の家元による慰問演奏会が開かれた。

同病院を訪れたのは東京都新宿区在住の浦思道さん(63)。浦さんは長年、大正琴を研さん。25

余年前に絃楽流を創設。その後、八絃琴を確立。家元として東京はじめ古里の長崎県などに大勢の門下を持ち、後進の指導育成に尽力している。

この日は、豊橋市内に住む親類に立ち寄ったことから、同病院での初慰問が実現した。院内の多目的ホールには、大勢の

患者や病院関係者らが集まり、家元の本格的な演奏に耳を傾けた。

浦さんは「人生劇場」「影を繕いて」などの古賀メロディーやナツメロを熱演。患者さんらもうつろいながら名演奏に聞き入っていた。演奏後、楽師の説明を求める人たちが集まり、熱心に家元の話聞いていた。

(星野のりこ)



患者らを癒やした慰問演奏＝豊橋ハートセンター